

巨大地震に備える

国による南海トラフ巨大地震の被害想定を受け、県は「第4次地震被害想定(第1次報告)」と、その推計された被害を減らすための対応方針「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013」を策定しました。一人でも多くの県民の命を守ることを目標に、ハード・ソフト両面から「減災」への取り組みを進めています。皆さんも一人一人が防災意識を高め、日頃からの備えを再確認しましょう。

12年ぶりに改訂された「第4次地震被害想定」は、従来の想定をはるかに超えた巨大な地震と津波が発生した東日本大震災の教訓を踏まえ、二つのレベルの地震・津波の被害想定を行いました。

レベル1の地震・津波 発生頻度が比較的高く(駿河・南海トラフでは約100~150年に1回)、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波

レベル2の地震・津波 発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波



第4次地震被害想定の大要	駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震	相模トラフ沿いで発生する地震
レベル	レベル2	レベル1
マグニチュード	8.0~8.7程度	9程度
震度7の地域	344km ²	344~732km ²
最大津波高	11m	33m
人的被害(死者数)*	約16,000人	約105,000人
うち津波	約9,000人	約96,000人
		約2,900人
		約5,700人

*冬・深夜、早期避難率が低い場合



地震・津波対策アクションプログラム2013



●基本理念

ハードソフトの対策を可能な限り組み合わせ、想定される被害をできる限り軽減すること、「減災」を目指す。

●基本目標

- 1 地震・津波から命を守る
- 2 被災後の県民の生活を守る
- 3 迅速、かつ着実に復旧、復興を遂げる

●減災目標

一人でも多くの県民の命を守る



1 新たな津波被害想定への対策

- ア 津波を防ぐ
防波堤など津波防御施設の整備を進め、計画期間の10年間で、レベル1の津波による人的被害を8割減少させることを目指します。
- イ 津波から逃げる
津波浸水域にいる全員が、迅速に適切な避難行動を取ることを目指します。
- ウ 津波に備える
津波避難場所の空白地域を解消することを目指します。



津波新防潮堤

2 超広域災害への対応

広域支援の円滑な受け入れ体制の整備や地域の防災力の向上、災害時要援護者の支援体制の整備、緊急物資等の確保、住宅の耐震化などを推進します。

3 複合災害・連続災害対策

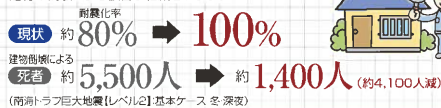
原子力災害が重なった場合、富士山噴火が連続した場合の避難計画の策定や訓練などを実施します。

防災対策の効果

「自助」「共助」「公助」の観点から県民の皆さんが防災意識を常に持ち、事前に地震に備えることで、次のような防災対策の効果が見込めます。皆さんのご協力をお願いします。

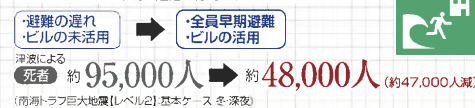
建物の耐震化の促進

住宅をはじめとする建物の耐震診断・耐震化の促進により、建物の倒壊による被害が軽減されます。



津波避難の迅速化・津波避難ビルの活用

津波発生の際の避難経路、津波避難ビルの確認を、日頃から意識することでいざという時に迅速な行動を取ることができます。



【問い合わせ】 県危機情報課 ☎054(221)3366



わが家を強固に

プロジェクト「TOUKAI-O」1・2・3で安心住まい

地震による建物倒壊から命を守るため、県は昭和56年5月以前に建てられた木造住宅を対象に耐震化プロジェクト「TOUKAI-O」を進めています。

1. 専門家の無料耐震診断 電話1本で(市町担当窓口へ)
2. 補強計画の作成 補強設計は2/3(費用の2/3を補助)
※高齢者のみの世帯は無料になる市町があります。
3. 耐震補強工事 補強工事に30万円～
※一般世帯30万円～、高齢者のみの世帯など50万円～の補助が出ます。

【問い合わせ】県建築安全推進課 ☎054(221)3320

1週間分の水や食料の備蓄を確認

広域災害が発生した場合、救援物資の到着に時間がかかることも想定されますので、水や食料を1週間分備えておきましょう。

- ◆水は1人当たり1日3リットルを目安に
- ◆アルファ米やカンパチなどの非常食のほか、缶詰、レトルト食品、カップ麺など日常の食料品も上手に活用し、無理のない備蓄をしましょう



総合防災訓練に参加しましょう

富士宮市・富士市を主会場にして9月1日(日)に静岡県総合防災訓練が行われます。今年は第4次地震被害想定を踏まえ、①地域の災害特性に応じた応急対策の検証②自衛隊などの応援部隊との連携体制の整備③自主防災組織と地域協働による防災力の強化が重点項目です。そのほか各市町でも8月30日(金)から9月5日(木)までの防災週間を中心に訓練が実施されますので、積極的に参加してください。

